



緩和ケアだより

平成25年度 第3号

レスキュー自己管理で患者満足度向上を

“病院では、医療用麻薬は必ず患者さんから回収し金庫で管理しなければならない。” そう思っている方も多いのではないのでしょうか？実は、決してそうではないのです。平成18年12月に「病院・診療所における麻薬管理マニュアル」が改定されたことにより、患者さん自身が服用管理できる状況であれば、**必要最低限の麻薬を自己管理することが可能**になっています。

当院でも、平成22年度に医療安全管理部、薬剤部、緩和ケアセンターとで、医療用麻薬レスキューの患者自己管理にむけた運用方法を検討しました。平成23年5月から運用開始となっており、**レスキュー薬1回分を患者さんが自己管理することが可能**となっています。

しかし、十分に周知されていない状況が見受けられ、このシステムがほとんど活用されていないのが現状です。そのため、職員のみなさんに改めて周知を図りたいと考え、**運用方法やフォローチャート等の文書を、“病院情報システム・インフォメーション”にPDFファイルで掲載しています。**今一度内容をご確認いただき、臨床で活用していただければと思います。

レスキューを患者自己管理とするメリット

- ・痛いときにすぐ服用することができ、我慢する必要がない（薬を準備してもらうまでのタイムラグが生じない）。
- ・患者さんが自分の判断でレスキューを服用できる→うまく痛みに対処できることで「自分で痛みをコントロールできた！」という自信につながる。

※もし、患者さんがレスキューを紛失してしまっても、従来のような事故届等の提出は必要ありません。インシデントレポートの入力は必要ですが。

手元にレスキューがないと…



痛くなってきたけど、看護師さん忙しそうだな…。我慢しようかな…。

手元にレスキューがあれば…



一回分もらってたレスキューをすぐ飲めば大丈夫

裏面にレスキュー患者自己管理フローシートを載せてますので、ご覧ください。

レスキュー

患者自己管理フローシート

STEP1：看護師による評価（ 月 日）		記入者：
☐	内服薬管理選択 MAP で自己管理可能と判断されている。（評価日： 月 日）	
☐	疼痛治療の目的で医療用麻薬が処方されていることを知っている。	
☐	疼痛の程度を評価できる（NRS、フェイススケール、からだの日記など）。	
☐	レスキューの使用方法を理解している（内服するタイミング、どれくらい間隔を空けるか等）	

☐すべてにチェックあり：患者自己管理可能

☐該当しない項目あり → **看護師管理**



STEP2：医師による総合評価		医師サイン：
☐	レスキュー自己管理可（指示日： 月 日）	

☐許可なし → **看護師管理**



STEP3：患者への提案（ 月 日）	
☐	レスキュー患者自己管理について提案する

☐希望あり

☐希望なし → **看護師管理**



STEP4：医療用麻薬管理方法の指導（ 月 日）	
☐	医療用麻薬管理に関する説明
☐	病棟での実際の運用方法について説明

☐同意あり（☐同意書サイン）

☐同意できない → **看護師管理**



患者自己管理開始（開始日：平成 年 月 日）